

平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成18年8月10日

上場会社名 株式会社ぐるなび
(URL <http://www.gnavi.co.jp/>)

(コード番号：2440 ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」)

問合せ先 代表者 代表取締役社長 久保 征一郎 TEL：03-3215-8818
責任者 常務取締役管理本部長 香月 壯一

1. 四半期財務・業績の概況の作成等に係る事項

- ① 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ② 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無
- ③ 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期の財務・業績概況(平成18年4月1日～平成18年6月30日)

当四半期が連結初年度のため、18年3月期第1四半期については記載しておりません。

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	2,557	—	37	—	38	—	△18	—
18年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
(参考) 18年3月期	8,649	—	1,354	—	1,321	—	665	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第1四半期	△69	83	—	—
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考) 18年3月期	2,606	51	2,578	37

(注) 1. パーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

2. 当第1四半期は、四半期連結財務諸表の作成初年度であるため、対前年同四半期比較は行っておりません。

3. 当四半期に係る潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、四半期純損失が計上されているため記載しておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期のがわが国経済は、企業収益の改善及び設備投資の増加、個人消費の緩やかな増加などにみられるように、全体として景気は緩やかに回復いたしております。

当社サービスの対象である外食業界では、利用客数が前年同期比で横ばいでしたが、客単価が前年同期比で増加に転じた結果、売上高が全店ベース及び既存店ベースで4月～6月は前年同期比で増加いたしました。

このような環境のもと当社は、基盤事業の拡大および関連事業の推進、ならびに当社サイトの価値を高めるための活動について以下のとおり取り組んでまいりました。

①基盤事業の拡大

全国での総加盟店店舗数の増加を最重要課題とし、『ぐるなび』の掲載対象となりえる飲食店をリスト化したうえで「ぐるなび通信(当社が毎月発行する飲食店向け冊子)」を送付し、このぐるなび通信会員に対して3ヶ月お試し無料キャンペーンを実施するなど加盟店となる見込みの飲食店発掘に注力いたしました。さらに、通信会員化した飲食店に向けてコールセンターによる営業活動や、『ぐるなび』を活用することによる集客力向上についての講習会「ぐるなび大学」への誘致による有料加盟店化の促進と加盟店総数10万店を目標に、競争力と収益基盤の拡大を図りました。

当社の収益力向上の点では、1加盟店あたりの収益拡大を図ることが不可欠なため、ビギナー加盟店の販促会員化の促進や、販促正会員の当社サービスに対する満足度を一層向上させることを目的に、従来の販促プロデューサーに

よる販促コンサルタントに加え、子会社㈱ぐるなびプロモーションコミュニティのスタッフが販促正会員の店舗を巡回し、店舗とのコミュニケーションを強化しました。これは、販促正会員による店舗情報の提供と収集、当社サービスの増額利用、加盟店からの紹介による新規販促正会員獲得を図るといった施策の実施であり、顧客満足度向上に努めました。

②関連事業の推進

関連事業については、まず宿泊予約・旅情報サイト「ぐるなびトラベル（インターネット版 旅の手帖）」を、グルメな旅を提案するトラベルサイトとすることを目的にリニューアルいたしました。また、子会社のジョイジョイ株式会社が結婚式会場情報を提供する「ぐるなびウェディング」では、「ぐるなびWedding関西版」をスタートさせ、関西エリアでの結婚式会場の旬な情報を提供できるようになりました。

さらに、企業家育成事業「ドリームゲートプロジェクト」を展開する株式会社プロジェクトニッポンと、飲食店経営や開業の支援事業に参入することで事業提携することとなりました。当事業を展開することにより、飲食店のサポート事業の拡大を図ります。

当社は加盟店のネットワークを活かして、飲食店に関わる飲料・食品メーカーや納入業者等による、飲食店に対するプロモーション活動にも注力いたしました。マーケティングリサーチを組み込んだプロモーション商品や、子会社の㈱ぐるなびプロモーションコミュニティの巡回スタッフを活用したプロモーション商品等を充実させ、販売を強化いたしました。

同じく子会社のぐるなび上海社では、海外におけるぐるなび事業の成功モデル確立に向けて上海オンライン社と提携し、メディアパワーの拡大を図りました。

③当社サイトの価値を高めるための活動

当社サイトの価値を高めるための活動としましては、5月に、会員専用ページ「myぐるなび」を大幅にリニューアルしました。この代表的な新サービスは、レストランページの閲覧履歴などのデータより、ぐるなびが個々のユーザーに向けて嗜好にあったお店を分析して選び出し、紹介するというものです。また「ぐるなびWoman」に「ぐるなびWoman特派員レポート」を新たに開設したのははじめ、「NIKKEI NET Smart Woman」との連動特集のスタート、よしもとの人気お笑い芸人による関西の美味しい情報満載の「よしもとぐるなび」のリニューアル等に取り組みました。

「ぐるなびモバイル」では、コンテンツをますます充実させることを目的に、4月に「ぐるなびBARモバイル版」を、6月に「ぐるなびランチモバイル版」をスタートさせ、さらに7月にはぐるなびモバイル版を即時性、利便性を追求した機能を追加させ大幅にリニューアルをいたしました。

また、6月18日にぐるなびの料理コンテスト「ぐるなびシェフ BEST OF MENU 2006」決勝戦をウェスティンホテル東京にて開催いたしました。当日は多くの来場者やマスコミの取材があり、ブランド力向上に大きく寄与いたしました。

このような取り組みにより、平成18年6月末現在、有料加盟店舗数は32,154店となり、有料加盟店舗数のうち、販促正会員店舗数（販促パックサービスを利用している加盟店舗数）は7,769店、ビギナー会員店舗数は24,385店となりました。また、登録ユーザー数は平成18年6月末現在で433万人となりました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は2,557百万円（基盤事業2,427百万円、関連事業130百万円）となりました。利益面では、お試し無料キャンペーン施策による売上原価率の上昇、関連事業の立上げ、営業施策費用の増加などにより、当四半期の連結経常利益は38百万円、連結四半期純利益は△18百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	7,647	6,428	83.6	24,852 04
18年3月期第1四半期	—	—	—	— —
(参考)18年3月期	7,920	6,397	80.8	24,781 65

(注) 19年3月期第1四半期の純資産には、少数株主持分37百万円を含んでおります。少数株主持分を除いた純資産は6,390百万円、1株当たり純資産は24,707円02銭であります。

<キャッシュ・フローの状況>

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	△333	△301	71	3,633
18年3月期第1四半期	—	—	—	—
(参考)18年3月期	678	△1,238	4,045	4,197

[連結財政状態の変動に関する定性的情報等]

① 連結財政状態の変動状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は7,647百万円と前期末の7,920百万円から272百万円減少しました。流動資産は現金及び預金713百万円の減少等により前期末比644百万円減少する一方、固定資産はソフトウェア338百万円の増加を主因に372百万円増加しました。

流動負債は未払法人税等の減少などにより、前期末の1,513百万円から303百万円減の1,210百万円となりました。

純資産につきましては、連結子会社に係る少数株主持分の増加等により前期末より31百万円増加し6,428百万円となり、自己資本比率は前期末比2.8%増加の83.6%となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは333百万円の減少となりました。これは、償却前、税金等調整前四半期純利益が122百万円、未払金の増加額120百万円等があったものの、法人税等の支払額517百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において投資活動の結果使用した資金は、301百万円となりました。これは主に、ソフトウェアの取得による支出243百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期において財務活動の結果得られた資金は71百万円となりました。これは主に、少数株主からの払込みによる収入60百万円があったこと等によるものであります。

この結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前期末比563百万円減少し、3,633百万円となりました。

<参考>

平成19年3月期連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	5,400	200	50
通期	12,300	1,650	800

(参考) 1. 1株当たり予想当期純利益(通期) 3,092円74銭

2. 1株当たり予想当期純利益の算出に用いた期末発行済株式数は、平成18年6月30日現在の発行済株式総数258,670株を用いております。

[業績予想に関する定性的情報等]

上記業績予想の予想売上高、予想経常利益、予想当期純利益は、従来公表している業績予想からの変更はありません。

(注) 上期の予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上

4. 添付資料

(1) 第1四半期連結財務諸表

① 第1四半期連結貸借対照表

区分	当第1四半期連結会計期間末 (平成18年6月30日現在)		前連結会計年度の要約連結貸借対照表 (平成18年3月31日現在)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金及び預金	3,683,753		4,397,361	
2. 受取手形及び売掛金	1,336,425		1,361,517	
3. たな卸資産	16,544		10,708	
4. 未収入金	362,699		348,564	
5. その他	286,398		194,844	
貸倒引当金	△203,593		△185,958	
流動資産合計		5,482,228		6,127,037
				77.4
II 固定資産				
1. 有形固定資産	392,016		365,108	
2. 無形固定資産				
(1) 連結調整勘定	45,228		47,889	
(2) ソフトウェア	1,137,710		799,027	
(3) その他	60,559		181,425	
無形固定資産合計	1,243,498		1,028,341	
3. 投資その他の資産				
(1) 敷金・保証金	467,322		337,143	
(2) その他	62,615		62,498	
投資その他の資産合計	529,937		399,642	
固定資産合計		2,165,452		1,793,092
				22.6
資産合計		7,647,680		7,920,129
				100.0

区分	当第1四半期連結会計期間末 (平成18年6月30日現在)		前連結会計年度の要約連結貸借対照表 (平成18年3月31日現在)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 支払手形及び買掛金	58,993		62,990	
2. ポイント引当金	12,739		9,507	
3. 未払金	697,224		548,315	
4. 未払法人税等	44,276		518,413	
5. 前受金	281,979		271,523	
6. その他	115,050		102,978	
流動負債合計		1,210,263		1,513,729
II 固定負債		8,940		9,141
負債合計		1,219,203		1,522,870
(少数株主持分)				
少数株主持分		—		—
(資本の部)				
I 資本金		—		2,315,450
II 資本剰余金		—		2,865,930
III 利益剰余金		—		1,216,353
IV 為替換算調整勘定		—		△475
資本合計		—		6,397,258
負債、少数株主持分 及び資本合計		—		7,920,129
(純資産の部)				
I 株主資本				
1 資本金		2,321,350		30.4
2 資本剰余金		2,871,830		37.5
3 利益剰余金		1,198,307		15.7
株主資本合計		6,391,488		83.6
II 評価・換算差額等				
1 為替換算調整勘定		△523		0.0
評価・換算差額等合計		△523		0.0
III 少数株主持分		37,512		0.5
純資産合計		6,428,476		84.1
負債純資産合計		7,647,680		100.0

② 第1四半期連結損益計算書

区分	当第1四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)			前連結会計期間の要約連結損益計算書 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)		
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)		
I 売上高	2,557,583	100.0	8,649,561	100.0		
II 売上原価	533,948	20.9	1,584,517	18.3		
売上総利益	2,023,635	79.1	7,065,043	81.7		
III 販売費及び一般管理費	1,986,146	77.6	5,710,157	66.0		
営業利益	37,489	1.5	1,354,886	15.7		
IV 営業外収益						
1. 受取利息	146		85			
2. 助成金収入	500		1,000			
3. 為替差益	772		1,120			
4. その他	—	1,420	0.0	291	2,496	0.0
V 営業外費用						
経常利益	—	—	—	35,990	0.4	
	38,909	1.5	1,321,393	15.3		
VI 特別損失						
1. 固定資産除却損	9,724		35,638			
2. リース資産処分損	1,526	11,250	0.4	2,026	37,664	0.5
税金等調整前第1四半期(当期)純利益		27,658	1.1		1,283,729	14.8
法人税、住民税及び事業税	36,185		681,440			
法人税等調整額	31,658	67,843	2.7	△58,890	622,550	7.2
少数株主損失		22,138	0.9		4,699	0.1
第1四半期(当期)純利益又は純損失(△)		△18,046	△0.7		665,877	7.7

③ 四半期連結株主資本等変動計算書（自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 6月 30日）

（単位：千円）

	株主資本				評価・換算 差額等 為替換算 調整勘定	新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計				
平成18年 3月 31日 残高	2,315,450	2,865,930	1,216,353	6,397,734	△475	—	—	6,397,258
当四半期中の変動額								
新株の発行	5,900	5,900		11,800				11,800
四半期純利益			△18,046	△18,046				△18,046
株主資本以外の項目の当四半 期中の変動額（純額）					△47	—	37,512	37,464
当四半期中の変動額合計	5,900	5,900	△18,046	△6,246	△47	—	37,512	31,218
平成18年 6月 30日 残高	2,321,350	2,871,830	1,198,307	6,391,488	△523	—	37,512	6,428,476

④ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当第1四半期連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)	前連結会計期間の要約連結 キャッシュ・フロー計算書 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
区分	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前第1四半期(当期)純利益	27,658	1,283,729
減価償却費	95,079	236,140
貸倒引当金の増減額	17,635	80,656
売上債権の増減額	25,091	△416,654
たな卸資産の増減額	△5,836	△3,587
未収入金の増減額	△14,126	△141,318
仕入債務の増減額	△3,996	26,176
未払金の増減額	120,500	32,642
前受金の増減額	10,442	△20,714
その他	△88,858	73,195
小計	183,589	1,150,266
利息及び配当金の受取額	137	78
利息の支払額	—	△258
法人税等の支払額	△517,242	△471,744
営業活動によるキャッシュ・フロー	△333,515	678,341
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△77,984	△270,379
ソフトウェアの取得による支出	△243,188	△810,847
敷金・保証金の差入による支出	△132,311	△112,551
敷金・保証金の返還による収入	1,930	8,882
新規連結子会社の取得による支出	—	△13,303
その他	150,000	△40,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	△301,553	△1,238,670
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	11,800	4,072,835
少数株主からの払込みによる収入	60,000	2,500
その他	—	△30,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	71,800	4,045,335
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△339	△458
V 現金及び現金同等物の増減額	△563,608	3,484,548
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,197,361	712,812
VII 現金及び現金同等物の第1四半期末(期末)残高	3,633,753	4,197,361

(2) 事業の種類別連結売上高内訳

事業部門	サービス	当第1四半期連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)		参 考 前期 (通期)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
基盤事業	販促パックサービス	1,813,114	70.9	5,834,320	67.5
	継続型サービス	502,921	19.7	1,901,705	22.0
	スポット型サービス	66,528	2.6	466,174	5.4
	プロモーション	44,536	1.7	209,532	2.4
	小計	2,427,101	94.9	8,411,732	97.3
	関連事業	130,482	5.1	237,828	2.7
	合計	2,557,583	100.0	8,649,561	100.0